

基本事業コード	06080001	担当課所名	保健センター
基本事業名	予防接種事業		
総合振興計画	基本柱(章)	3	温もりと安心のある「健康のまち」
	政策	1	誰もが元気なまちづくり
	施策	2	市民の健康支援
		総合振興計画	84 ページ

**基本事業の概要** 予防接種法に基づく定期一類疾病予防接種(三種混合、BCG、ポリオ、麻疹風疹混合、日本脳炎)を実施する他、任意の予防接種として、中学3年生のインフルエンザ予防接種、75歳以上の高齢者への肺炎球菌予防接種の助成を行い、個人の発病と重篤化を防止し、まん延の予防に努めてもらう。なお、日本脳炎の予防接種については、現在積極的な勧奨を行っていない。

**対象** 【定期接種】乳幼児・小学6年生・中学1年生・高校3年生・65歳以上の市民 / 【任意接種】中学3年生(インフルエンザ)・75歳以上の市民(肺炎球菌ワクチン)

**意図** (対象をどのようにしたいか) 個人の発病と重篤化を阻止し、まん延の予防に努めてもらう

基本事業指標	指標の算式	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	今年度目標値	目標値	目標値	
定期予防接種の接種率(年度末)	接種人数÷対象人数	%	80.1	95	95	95	県内市町村平均(H21年度)81.3
中学3年生のインフルエンザ予防接種の接種率(年度末)	接種人数÷対象人数	人	63.8	80	90	95	
75歳以上の高齢者の肺炎球菌ワクチン接種率(年度末)	接種済人数÷75歳以上の高齢者数	人	-	75	78	80	

事中評価実施日は、9月～11月中の任意の日を設定してください

◆基本事業を構成する事務事業◆

事中評価実施日 平成22年 10月7日

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標	目標値(上段)	特記事項 (事務事業の問題点等)	23年度以降の 事業の方向性		重点化
			実績値(下段)		コスト	成果	
01	一類定期予防接種事業	各種予防接種の接種人数	22,000	現時点で集団予防接種には、対象者のうち85%の乳幼児が接種を受けている	維持	拡充	○
		単位 人	13,985				
02	中学3年生インフルエンザ予防接種事業【任意予防接種】	中学3年生インフルエンザ予防接種の接種人数	600	接種時期が10月以降であるため	維持	維持	
		単位 人	0				
03	★ 肺炎球菌予防接種事業【任意予防接種】	肺炎球菌ワクチン接種人数	4,650	今年の5月に対象範囲を大滝地域から全市へ広げたが、出足が鈍い	維持	拡充	○
		単位 人	1,333				
04	新型インフルエンザ予防接種費用助成事業【任意接種】	-	-	今年度は予算を確保していないで啓発活動のみを行っている	維持	維持	
		単位 -	0				
05							
06							
07							
08		単位					
09		単位					
10		単位					
11		単位					
12		単位					
13							
14		単位					

・この事業の今後の方向性を「コスト」「成果」の視点に立って、必ず課長が決めてください。  
 ・「重点化」欄も課長が決める部分です。  
 ・V列に「エラー」と表示される場合は、コストと成果の方向性の組み合わせが誤っている時です。

この事業における問題点、課題などを具体的に見つけ出して記入するとともに、その問題点、課題に対する具体的な改善の方策を記入してください。  
 この記述が、裏面の予算要求資料で増額、減額要望する根拠にもなります。

事中評価	新たに生じた問題点や環境の変化	年度開始後、6か月が経過し、新たに生じた問題点はないか？基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 定期予防接種については、年度当初に全戸配布する健康カレンダーや毎月の広報での周知の成果があがっているため、昨年同時期に比べ、接種率が高くなっている。定期予防接種のうち日本脳炎予防接種については、国の指導により平成17年から積極的勧奨が差し控えられていたが、平成21年に新しい日本脳炎ワクチンが薬事法に基づき承認されたため、秩父市においても、3歳児への日本脳炎予防接種を再開する必要がある。また、子宮頸がんワクチンの予防接種による20～30代の罹患率を抑えるため県内では、7市町で助成制度が開始されている。
	問題点などへの具体的な対応方法や解決するための方策	定期予防接種について保健センターで行う集団予防接種の比率が高く常勤職員の負担が年々増加しているため、秩父郡市医師会や医療機関等と検討を重ねながら個別接種の比率を増やしていく。子宮頸がんワクチンの予防接種については、公費助成を実施したいが、同時に国の政策として行うよう働きかけを行っていく。

枝番号は、下の表の「基本事業を構成する事務事業」の中で、どの事業についての改善なのか対応する枝番号を記入してください

基本事業コード	06080001		
基本事業名	予防接種事業		
改善 調 書	改善・改革を実行するため、新年度予算へ反映(増額・減額)したい事項		
	枝番号	改善・改革の内容	予算反映額 (千円)
	1	保健センターで行っている集団接種を医療機関で行う個別接種へ比率をシフトしていき、職員の業務量を削減する。したがって、日本脳炎予防接種を再開しても現在の職員数で業務をこなしていく	800
			秩父都市医師会への接種費助成事務の委託料
	改善調書の「改善・改革の内容」欄は、前年度の事後評価または今回の事中評価を受けて、改善するために予算へ反映したい理由を記入してください		
	前年度の当初予算額ではなく、補正等も含めた現時点の予算額を記入してください		

Plan

款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費	
予算事業名	予防接種事業					
予算要求額	122,700 千円		財 源 内 訳 [千円]			
(22年度予算額)	(80,458 千円)		国庫補助金	県支出金	地方債	
			0	0	0	
				0	122,700	
基 本 事 業 を 構 成 す る 事 務 事 業	枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	新規・ 廃止	新年度 予算要求 [千円]	22年度 現予算額 [千円]	増 減 理 由 (新規の場合、その事務事業が必要になった理由)
	01	一類定期予防接種事業		71,200	69,358	3歳児への日本脳炎の予防接種について、積極的勧奨を再開するため (H17年以降差し控えられていた)
	02	中学3年生インフルエンザ予防接種事業【任意予防接種】		1,800	1,800	
	03	★ 肺炎球菌予防接種事業【任意予防接種】		2,200	9,300	22年度が事業開始初年度であり、1度接種すれば済むため、該当者数の減(4,650人→1,100人)
	04	新型インフルエンザ予防接種費用助成事業【任意接種】		0	0	
	05	★ 子宮頸がん予防ワクチン接種事業【任意接種】	新規	47,500	0	50,000円×950人(中学1～3年生の女子生徒)(24年度からは中学1年生のみ)
	06	実施計画事業 (=ヒアリング対象事業) は ★印を付けて下さい				
	07					
	08	予算要求書を見ればわかるような、単に「〇〇費を減らしたから」とせずに、なぜ増減したのか、その背景がわかるように記述してください				
	09					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
18						